

じゅこう

第87号
(通算427号)

発行元
浄土真宗本願寺派
吉富山 浄覚寺
大阪市平野区
長吉長原3-1-10
06-6790-8350

浄覚寺ヨガ教室
・7月15日(水)
10時～11時半
・参加費500円

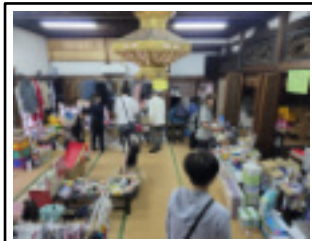
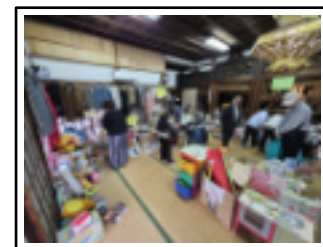
浄覚寺雅楽教室
・7月28日(火)
19時～20時半
・参加費1000円

浄覚寺ピアノ教室
・7月 金曜日開催
(月3回)

浄覚寺バザー 開催

六月七日、第三回目となる「浄覚寺バザー」を開催することができました。今年もたくさんのお休みのご提供をいただき、また仏教婦人会を中心に多くのお手伝いをいただいたおかげで皆さんに喜んでもらえる催しとなりました。当日はあいにくの雨となりましたが、初めてご来山いただく方も多くおられ、賑やかで楽しい一日となりました。今から四、五年前になり

ますが、あるお宅の月参りの後で、お茶をいただきながら雑談をしておりました。お寺にもっと人が来て欲しい。そのためにバザーなどの行事をしてはどうですか。と提案をいただき、それではやりましょうと安請け合いをしてしまいました。その時の総代さんに相談すると、するのは良いと思いますが、しっかりと準備をして開催しましょうと、少しブレーキをかけていただき、



バザーのルールやお手伝いの役割分担など、詳細を詰めて動き出すことができました。開催の目的は、まずは新しい方にご来山いただくこと。次にお買い上げいただいた収益を浄覚寺の本堂再建基金に積み立てること。そしてもちろん、「もつたいない」の気持ちを大切に、まだ使えるものを必要な方へ届けるというものでした。

そんなバザーも今年三年目を迎え最終回となります。もつと続けたい良いのにお声もいただきましたが、惜しまれながら終わっていく方が、長年続け疲弊して辞めていくより良いと思い、最初の計画段階より三年と決めておりました。また新しいことにチャレンジしていこうと思っております。

川北組 仏教婦人会 総会

六月十六日、川北組かわきたぐみ仏教婦人会の総会に当山の婦人會も参加いたしました。今年度は研修旅行も兼ねており、奈良県橿原市にある今井御坊、稱念寺さまに参拝をすることができました。

中世末期の和の国において、浄土真宗の布教が本格化する中、今井の地域は自治機能と環濠かんわうや町割りに防衛機能を備えた寺内町として発展したとのこと。稱念寺さまは信仰の中心というだけでなく、町政全般の拠点であったそうです。



蓮如上人、

御廊下を御とほり候ひて、

紙切れのおちて候ひつるを

御覧せられ、仏法領の物を

あだにするかやと仰せられ、

両の御手にて御いただき候ふと。

蓮如上人『御一代記問書』



御文章に聞く(第80回)

参考文献：『御文章 ひらがな版を読む』 天岸淨圓著 本願寺出版社

当流勸化章(五帖第二十二通)
 ともうめいけんけしやう
 そもそも、当流勸化のおもむきをくわしくしりて・極樂に往生せんともわんひととは、まず、他力の信心といふことを存知すべきなり、それ、他力の信心といふは・なにの要ぞといえ、かかるあさましきわれらごときの凡夫の身が・たやすく浄土へまいるべき用意なり、その他力の信心のすがたというは・いかなることぞといえ、なにのようもなく・ただひとすじに・阿弥陀如来を一心一向にたのみたてまつりて、たすけたまえとおもうころの・一念おこるとき、かならず弥陀如来の・撰取の光明を放ちて、その身の娑婆にあらんほとは・この光明のなかに摂めおきましますなり、これすなわち・われらが往生の定まりたるすがたなり、

今回も御文章(蓮如上人からのお手紙)を味わっていききたいと思います。先月に紹介したご和讃、十方微塵世界の念仏の衆生をみそなはし撰取してすてざれば阿弥陀となづけたてまつるの「撰取して」の漢字の「左ガナ」に、「ひとたびとりて、ながくすてぬなり」と著されました。それは、この仰せを聞かせていただいた者にとつて、この撰取の利益はどんなことがあっても無効にならないという、決定のすくいであらわす言葉でもありました。

ともすれば、その「撰め取って捨てぬ」との名のりを聞くとき、それと同時に名のりのままに、撰め取られて捨てられることのない身と定まるのです。蓮如上人は、そのことを「一念發起入正定之聚」ともいわれた、今のうちに「撰取の利益」ともいわれたのです。ですから、他力の信心ひとつで、必ず極樂に往生できるとは、疑いがないといわれたのです。

仏教語辞典



火葬

火葬は仏教が興る以前の紀元前一五〇〇年頃、インドに入っていたアーリア人の習慣である。紀元前五〇〇年頃に仏教徒によってアーリア人は追放されたり、改宗させられたりするが、火葬の文化はそのまま継承されることになった。お釈迦さまも火葬されている。

『気になる仏教語辞典』
 著・麻田弘潤 誠文堂新光社
 仏教にまつわる用語をイラストとわかりやすい言葉で読み解かれています。ぜひお買い求めください。

編集後記

今月も「じゅこう」をお届けいたします。

・六月は今年で三度目のバザーでしたが、最終回でもありました。思い通りに行かなかったこともありましたが、無事にバザーを終えられたことに安堵しております。何より、皆さんにお手伝いをいただくなければこの行事は成り立ちません。バザーに関わってくださった全ての方に御礼申し上げます。そして、今年度のバザー売上金額は71,110円でした。ご報告させていただきます。

・七月には浄覚寺ごども会「夏のつどい」を開催しますが、その中で灯籠を制作しようと考えております。うまくできれば盂蘭盆会に飾り付けようとも思っております。そこで、皆さまからのメッセージを募集します。絵でも文字でも構いません。心を込めた願いをB5サイズの紙に筆やマジックなどで書いてお届けください。詳細は住職までお尋ねいただければと思います。宜しく願います。(釋法道)



行事案内

日時・七月十九日(日) 十時～十六時
 行事・浄覚寺ごども会「夏のつどい」
 場所・長原浄覚寺 詳細は別紙にて

(なお、当日のお参りはお休みをさせていただきます)

盂蘭盆会のご法要に併せて門信徒総追悼法要を厳修しております。ご法要の中で故人のご法名を拝読し、偲ばせていただきながら、この度のご法要をできるだけ身近なものに感じていただければと思っております。別紙申込書にて期日までにお届けいただきますようお願いいたします。

